

平成27年度 宮城県教育委員会 志教育支援事業（推進地区指定）

中新田中学校区「事例発表会」

実践事例集

～夢をいだいて大海をめざそう～



志教育支援事業 中新田中学校区連絡協議会

発行のあいさつ

加美町教育委員会 教育長 早坂 家一

中新田中学校区（小学校3校，中学校1校，高校1校）は昨年度に引き続き，宮城県教育委員会から志教育支援事業推進地区の指定を受け，これまで実践を進めて参りました。

「志教育」とは小・中・高等学校の全時期を通して，人や社会と関わる中で社会性や勤労観を養い，集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら，将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育です。

加美町では，町の教育基本方針の重点努力事項の一つとして，小中高校間や地域との連携による交流活動の推進を掲げています。この重点努力事項と「みやぎの志教育プラン」のもと，各学校は「志教育」に取り組んで参りました。

児童生徒が主体的に確かな学力を身に付けるためには，現在の学びと社会とのつながりから学ぶことの意義を認識させることが重要です。このことを踏まえ，町の方針をしっかりと意識して，各学校が実践を重ねてきたことをうれしく思います。

中新田中学校区の主な取組として，10月に実施した小小交流会では，3小学校の6年生が一堂に会し，グループに分かれて自分の夢を発表し合い，どの児童も自分の夢に自信をもったり，友達の夢に共感したりすることができました。また，志に関わる学習活動では，中新田の良さを再確認することができました。交流後の感想に「中新田に住んでいる人は優しい。」「いろんな夢をもっている人がいて，すごいなと思いました。」など，自己発見や友達の夢を認めること等の活動のねらいが達成できていることがうかがわれました。また，自分の通う小学校区以外の地区の良さを知り，ふるさと中新田に誇りを持ち，ふるさとを語る大人に育てようとする本実践のねらいに迫っていることを実感しています。

同じく10月に行われた小中交流会では，小学6年生が中学校での授業と部活動の体験をしたり，中学1年生が希望する小学校に行き，後輩の授業を支援したりする取組も行いました。参加した中学生は「自分たちが小学生に教えて『ありがとう，上手に書けたよ。』と言われうれしかったので，これからも憧れの先輩になれるように，もっと中学校の良さを伝えていきたいです。」と感想を述べています。小学生は中学生に対する尊敬の思いが大きくなり，中学生は自己有用感を実感できる機会になりました。

また，指定2年目の新たな取組として，地元中新田出身の漫画家，いがらしみきおさんをお招きして，志教育講演会を実施しました。いがらしみきおさんからは，これまでの経験をもとに夢をもつことの大切さを後輩たちにお話いただきました。

「志教育」の三つの柱である「人と『かかわる』，よりよい生き方を『もとめる』，社会での役割を『はたす』」ことを目指したこれまでの取組を，児童生徒一人一人の思いや感動を大切に，ここに「志教育実践事例集」としてまとめました。まだまだ不十分な点や課題も多々ありますが，この実践が今後の各校の取組に少しでも参考になればと思います。また，保護者の皆様には，親子で将来の夢，目標あるいは生き方について語り合うための材料にいただければ幸いに存じます。

最後になりましたが，全面にご指導とご支援をいただきました宮城県教育委員会・北部教育事務所の先生方，講師としてご協力いただきました地域の皆様，そして事業推進にご尽力いただきました各校の先生方に心から感謝申し上げ，発行にあたってのあいさつといたします。

あ い さ つ

志教育支援事業中新田中学校区連絡協議会

会 長 鎌 田 稔 (中新田中学校長)

本年度、中新田中学校区は昨年度に引き続き宮城県教育委員会より「志教育支援事業」の推進地区指定を受け、中新田中学校と学区内の3小学校、中新田高校が推進校として連携し、改めて共通認識を深めながら志教育の改善・活性化を図って参りました。

昨年度、当地区ではまず志教育の視点で校種間の連携を見直すことから始めました。肩肘張らずに子供たちの姿が見える実践研究であることと、これまでの各校の志教育の実践を生かして「人生に必要なことの多くはふるさとに学んでいる」といわれるように、中新田地区のよさを改めて見つめ直し、「ふるさと中新田で学び、ふるさと中新田に誇りと自信を持って、ふるさと中新田を他に語れる子供たち」を目指して、子供たちの夢や志を育むために小・中・高の連携を強化していくことを確認しました。

加美町の町民憲章にある「夢 海をめざし 愛 ふるさとに帰る 鮎の凜烈 川よ語れ」から、テーマを「夢をいだいて大海をめざそう」、サブテーマを「ふるさと中新田に誇りをもちふるさとを語れる大人に」として、交流会の実施を中心に連携に取り組みました。

小・中・高の連携強化の主なものは各小学校の交流活動や小・中の交流活動、中・高の交流活動ですが、交流活動を通して「かかわる」ことの意味や意識の高揚などが見られました。また、種々の企画・運営をするに当たり会議を重ねた結果、校種を超えた教職員の交流が深まったことも大きな成果でした。

今年度は昨年度の成果と課題を踏まえ、小・中・高の連続した教育や交流活動を継続・発展させ校種を超えた実践を工夫する。自校の志教育の質の向上に努め、児童・生徒の「志」を高め良い習慣を身に付けさせる。地域の人材活用と志教育の地域・保護者への発信を充実させる。この三つの柱を軸に事業の展開を図ってまいりました。

子供たちは、昨年度に引き続き、ふるさと中新田を学び将来の中新田をみんなで考え合いました。また、様々な活動を通して中新田地区の方々と関わりたくさんのお世話をいただきました。小中高の異校種で様々な交流活動も継続して行ってまいりました。新たな試みとして、中新田出身の漫画家いがらしみきおさんをお招きして「夢に向かって」という志教育講演会も実施しました。

これらの実践を通して、「自己理解や他者理解を深化させる」、「自らの在り方生き方について主体的に探求させる」、「自分の果たすべき役割を認識しそれを果たし自己有用感を高める」、この志教育のねらいはまさに、各学校の教育目標に直結しており、「このねらいに迫ることが子供たちの成長を加速させる」ということを改めて確信することができたように思います。

このたび、実践の一端として事例発表を行います。児童・生徒の発表や活動の様子、私たちの実践のあり方をご覧いただき、ご参会の皆様から忌憚のないご意見・ご指導を賜り、今後の教育実践の一層の工夫・改善を図っていきたくと職員一同強く願っております。また、ご参会の皆様にとって、この事例発表会が有意義な研修会となり、明日への実践に役立たせることのできるものがあればと願っております。

結びになりますが、本事業を推進するに当たりましてご指導・ご支援を賜りました宮城県教育委員会並びに北部教育事務所の先生方、そして加美町教育委員会の皆様から感謝と御礼を申し上げますとともに、今後なお一層のご指導・ご助言をお願い申し上げます。

目次

あいさつ 加美町教育委員会 教育長 早坂 家一

志教育支援事業 中新田中学校区連絡協議会 会長 鎌田 稔

I 志教育の推進について

1 推進の概要	1
2 中新田中学校区の志教育の推進全体構想図	4
3 実践の成果と今後の課題	5

II 各校の志教育の実践の様子

1 中新田小学校	7
2 広原小学校	8
3 鳴瀬小学校	9
4 中新田中学校	10
5 中新田高等学校	11

III 志教育連携事業の実践

1 小小交流	12
2 小中交流	14
i 小学6年生が中学校で交流	
ii 中学1年生が3小学校で交流	
(1) 中新田小学校	
(2) 広原小学校	
(3) 鳴瀬小学校	
3 中高交流	19
4 志教育講演会	21

IV 中新田っ子便りの紹介

V 平成27年度中新田中学校区志教育年間交流活動表

27

I 志教育の推進について

- 1 推進の概要
- 2 中新田中学校区の志教育の推進全体構想図
- 3 実践の成果と今後の課題



1 推進の概要

(1) 志教育支援事業の趣旨

高度情報化や経済活動のグローバル化の一層の進展により、これからの社会は、これまで以上に変化の激しいものになることが見込まれる。そうした変化の中でたくましく生き抜いていけるよう、必要な知識・技能を確実に身に付けるとともに、自らの適性を的確に把握し、社会の中で自らが果たすべき自己の役割を将来にわたって展望し、その実現に向けて強い意志をもって自律的に行動できる人づくりを進めることが求められる。

そこで、小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とかがかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を求めさせていく志教育を推進し、県内各小・中・高等学校及び特別支援学校に普及する。（宮城県教育委員会「志教育支援事業実施要項」）

(2) 指定期間

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで（1年間）

(3) 事業の内容

- ① 推進地区連絡協議会を設置し、運営する。
 - ア 実践目標、実施計画、実施方針、小中高連携内容を設定する。
 - イ 全体計画、各校種での実施計画・年間計画を作成し、整備を図る。
 - ウ 各校種の事業に関する連絡・調整を図る。
- ② 家庭及び地域、小中高との連携した事業を検討し実施する。
- ③ 志教育の視点から、各教科・領域等の授業内容を再検討する。
- ④ 体験活動や交流活動を充実させる。
- ⑤ 中新田地区出身の方による志教育講演会を実施する。
- ⑥ 事例発表会の充実を図る。
- ⑦ 実践事例集、リーフレットを作成する。

(4) 中新田中学校区の概要

加美町は平成15年4月1日に旧中新田町、小野田町、宮崎町の3町が合併して誕生した。西側には、栗駒山、船形連峰等の奥羽山脈が連なっており、東側には、中新田地区の住宅地市街地周辺と鳴瀬地区、広原地区南部を中心に米作を中心とした田園地帯が広がり旧古川市に隣接している。南側は鳴瀬川を隔てて色麻町、北側は丘陵山林地帯を経て旧岩出山町に接している。

中新田地区は、藩政時代より商工業地帯として開発が進められ、地酒・草刈り鎌の製造が行われ現在も受け継がれている。広原地区の大部分は丘陵地帯であり、林業の他に酪農や果樹栽培等が行われている。また、町では「歴史文化」の町づくりを目指して、バッハホール、縄文美術館や墨雪墨絵美術館、東北陶磁文化館、町立図書館などを建設し、文化の振興にも力を入れている。

地区内には、私立幼稚園2園、町立保育所が1園、小学校3校、中学校1校、県立高等学校1校がある。これまで、小中学校交流や中高交流は行っていたが、昨年度から小中連携事業や小中高連携事業で異校種相互に授業参観や情報交換等の交流の充実を図ってきた。交流会では、各校がこれまで取り組んできた志教育の実践を紹介し合っってそれぞれの学びや成果について理解を深めたり、学習や部活動の交流を通して児童生徒の達成感や自己有用感を高めたりすることができた。今年度は、昨年度の課題を見直した小中連携事業、小中連携事業を行うことで、更にかかわりを深めたり広げたりすることを目指して取り組んできた。

今後も、今年度の成果を踏まえて、小中高の連携を積極的に図るとともに、児童生徒の発達段階に応じた的確な指導・支援の工夫を図り、地域とのかかわりを大切にしながら、より一層の志教育の推進に取り組んでいくことが望まれる。

(5) 中新田中学校区の志教育の推進目標

小中高等学校の学習交流や部活動交流等の連携を積極的に図り、児童生徒の発達段階に応じた的確な指導・支援を行い、地域の自然・人からの学びを土台に、ふるさと中新田に誇りを持ち、ふるさとを語れる社会人を育てていく。

(6) 中新田中学校区の志教育の取組方針

- ① 推進地区内において志教育について共通理解を図るとともに、各校における志教育の推進を図る。
- ② 各校の発達段階に応じて実践する志教育において、児童生徒に付けたい力を明確にし、地区内の志教育の充実・推進に努める。
- ③ 小中高等学校の連携のよさを生かした志教育の取組を推進する。

(7) 中新田中学校区の志教育連携事業

昨年度から、小小、小中連携事業として、小小交流会と小中交流会を実施している。2つの連携事業は、児童生徒にとって自分の目標や夢をもつ上で有効であることが確認できた。限られた時間の中で更に有意義な活動にすることを目指し、教員間の連絡調整を密にして今年度も実施した。

① 小小交流会【平成27年10月1日（木）】

〈ねらい〉・6年生同士で交流させ、仲間意識をもたせる。

- ・各校の志教育にかかわる活動を紹介し合うことで、中新田地区のよさを確認させる。

〈内容〉交流会Ⅰ

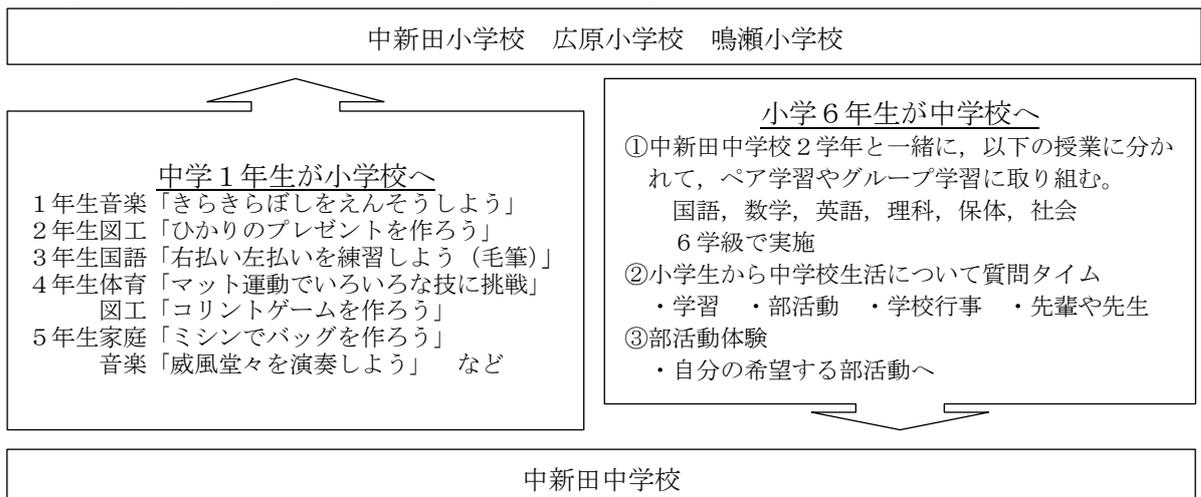
- ・全体を8グループに分け、簡単な交流ゲームを行う。

(ゲームをしながら、自己紹介や中学校でしたいことや夢等を発表する。)

交流会Ⅱ

- ・各校の志教育にかかわる活動を紹介する。
- ・中新田のよさや将来の中新田地区についてグループ討議を行う。

② 小中交流会【平成27年10月6日（火）】



③ 中高交流【5月より、各部顧問で連絡確認し活動】

〈部活動交流〉

カヌー等

- ④ 志教育講演会【平成27年11月4日（水）中新田文化会館（バッハホール）】
- ・ 演題 「夢をもって」
 - ・ 講師 漫画家 いがらしみきお氏（中新田地区出身）

- ⑤ 事例発表会【平成28年1月29日（金）中新田文化会館（バッハホール）】
- ・ 火伏の虎舞の発表
 - ・ 中新田中学校区志教育の紹介
 - ・ 小学校（3校）、中学校、高等学校の実践紹介
 - ・ 「これからの中新田、これからの自分」について発表（小・中・高等学校）
 - ・ 地域の方からのメッセージ

(8) 中新田中学校区志教育テーマ

加美町町民憲章の「夢 海をめざし 愛 ふるさとに帰る 鮎の凜烈 川よ語れ」から、若鮎のように、ふるさと中新田でたくさんの栄養（学び）を受け、大海(広い世界)を目指して飛躍してほしいという願いから、中新田中学校区志教育のテーマを下記のように設定した。

中新田中学校区志教育テーマ

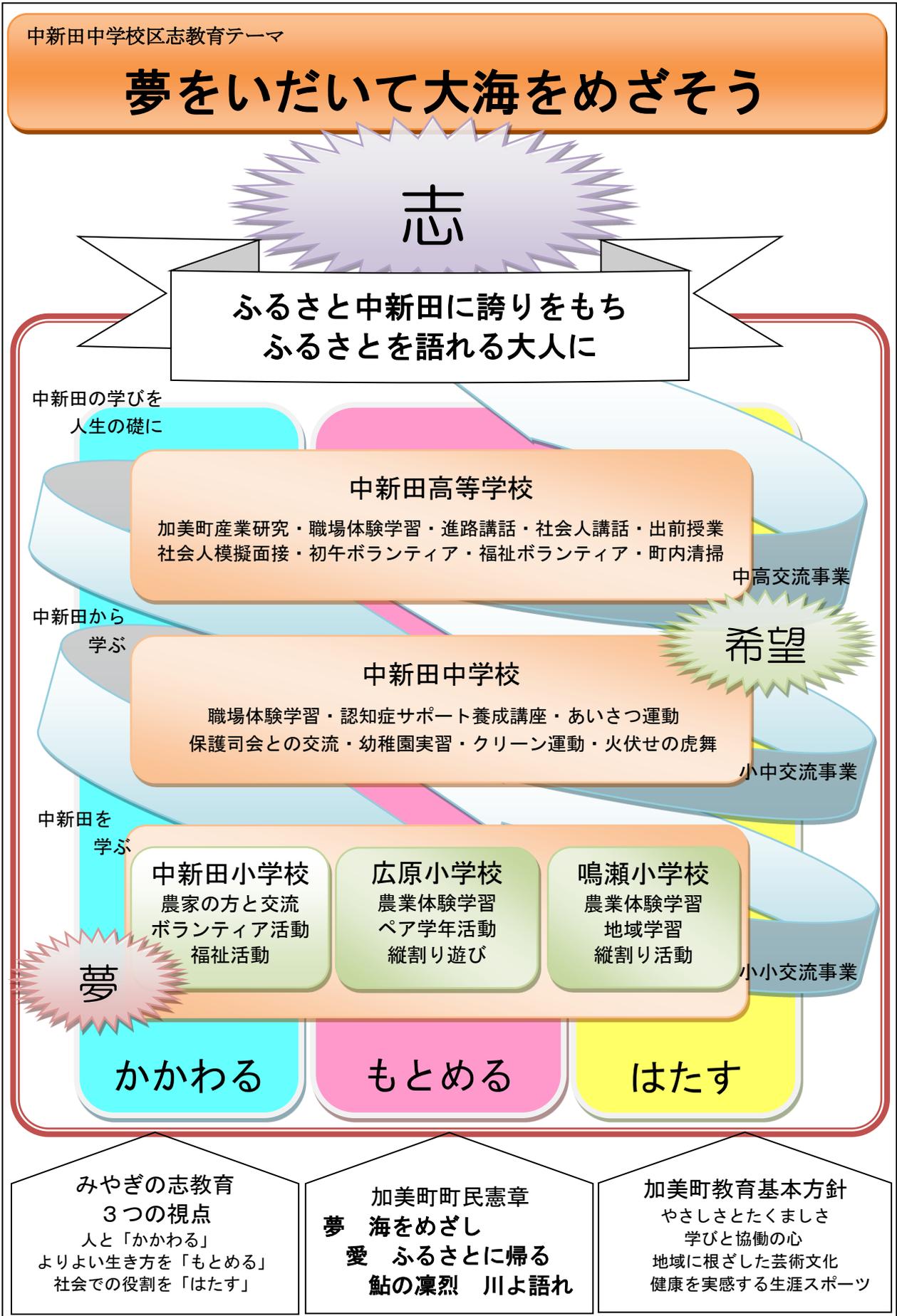
「夢をいだいて大海をめざそう」

～ふるさと中新田に誇りをもち ふるさとを語れる大人に～

子どものころの夢を、希望にふくらませ、志をもった大人として成長してほしい
いつまでもふるさとに誇りをもち、ふるさとを語れる大人として成長してほしい

(9) 主な実施経過と今後の予定

年 月 日	実 施 内 容	
平成27年	4月22日	中新田中学校区推進地区担当者準備会
	4月24日	第1回宮城県志教育支援事業推進会議
	6月4日	第1回中新田中学校区連絡協議会
	6月4日	第1回北部管内大崎地区推進地区連絡協議会
	6月29日	第1回中新田中学校区担当者会議
	8月2日	第2回宮城県志教育支援事業推進会議
	8月24日	第2回中新田中学校区担当者会議
	9月24日	小小交流会打合せ会（3小学校担当者・6年担任）
	10月1日	小小交流会（中新田小・広原小・鳴瀬小）
	10月6日	小中交流会（中新田中学校区）
	10月15日	第3回中新田中学校区担当者会議
	11月4日	中新田中学校区志教育講演会
	11月17日	第4回中新田中学校区担当者会議
	12月2日	第2回中新田中学校区連絡協議会
	12月2日	第2回北部管内大崎地区推進地区連絡協議会
平成28年	1月6日	第5回中新田中学校区担当者会議
	1月28日	事例発表会練習会・リハーサル
	1月29日	中新田中学校区事例発表会（中新田文化会館）
	2月9日	第3回宮城県志教育支援事業推進会議
	2月24日	第3回中新田中学校区連絡協議会 第3回北部管内大崎地区推進地区連絡協議会



3 実践の成果と今後の課題

(1) 実践内容

① 連携行事

- ア 小中交流会（3小学校6年生による交流会）
- イ 小中交流会（学習体験・学習支援・部活動体験：中新田中学校区）
- ウ 中高交流会（部活動交流）
- エ 志教育講演会（中新田地区出身・漫画家：いがらしみきお氏）

② 推進地区啓発活動

- ア 事例発表会の実施
（各校での志教育の学習活動，職場体験等の情報の共有，地域の方も含めた交流発表会）
- イ 取組を紹介するリーフレットの作成および配布
- ウ 連携事業の紹介と案内状の配布（学校だより等での紹介，事例発表会の案内）
- エ 中新田中学校区志教育推進事業「中新田っ子便り」の発行と（PTA・地域への）配布

③ 教職員間の連携

- ア 交流活動の取組（全職員がかかわり，児童生徒の活動を支援）
- イ 各校の志教育年間交流活動表の作成（各校及び，各校間の活動をまとめたもの）

④ 児童生徒の変容の記録

- ア 児童生徒の活動や振り返りシート等の記録の蓄積（指導実践の評価と改善）

(2) 実践の成果

① 小中高連携による学びの共有

交流活動を通して身近な人とのかかわりが広がり，相手のよさや自分のよさに改めて気づき，自分の目標や夢に対して自信をもつことができるようになった。

小中交流会では，3校混合の小グループで交流ゲームを行ったり，将来の夢を紹介したりすることで，初対面だった児童が打ち解けて話すことができるようになった。「小中交流会で会うことが楽しみ。夢を聞いてもらい安心した。また交流したい。」等の感想があり，仲間意識の醸成や中学への期待感につなげることができた。

また，各校の志教育の活動発表やグループでの話し合いから，中新田地区のよさとして「自然環境の豊かさ，伝統的な行事，地区の方々の思いやり，生活しやすい環境」を確認し，今後，中新田地区をさらによくしていくために「もっと町をきれいにしたい。」「ボランティア活動に取り組みたい。」等の意見が出され，ふるさと中新田を大事にしたいという思いを3校で共有することができた。

小中交流会では，小学6年生と中学2年生が学習活動や部活動に共に取り組み，中学1年生が小学1年生から5年生までの学習支援を行った。異校種間で「学ぶこと」「教えること」を双方向で実践することにより，自己有用感や自己肯定感を高めることができた。「初めは緊張したけど、『ありがとう』と言われてうれしかった。」「教えても分かってもらえないときは悔しかったけど，何度も説明して分かってもらえたときはホッとした。」「小学生によい印象を与えられるように言葉遣いや仕草に気を付けて活動することができた。」等の感想や，「中学生は一人一人が積極的に



小中交流会の様子



小中交流会の様子

授業に取り組んでいた。」「疑問に思ったことを優しく教えてくれて、分かりやすかった。」「算数でお兄さんとお姉さんにたくさん丸をつけてもらってうれしかった。」「教え方が優しくて、自分もそんな中学生になりたいと思った。」等の感想が見られ、互いに成果が実感できる活動となった。また、中学校で活動した6年生は、中学生と一緒に楽しく授業や部活動を体験できたことが何よりうれしかったようである。「授業が分かりやすかった。」「先輩がヒントを教えてくれた。」「難しいと思っていたけど部活動は楽しかった。」「早く中学校へ行きたいと思った。」等、これまでもっていた中学校への不安感が払拭され、安心感・期待感がもてるようになった。

中高交流では、部活動における合同練習が主な内容であったが、高い技術をもつ高校生から直接指導されることで、自分の目指す目標をより具体化することができ、練習に対する意欲を向上させることができた中学生が多く見られた。

近くて遠い小中高等学校だったが、連携事業を通して、有機的なかわりを深めるだけでなく、小学生が中学生を、中学生が高校生を身近な目標・あこがれとして捉えることができた。このことは中学生や高校生にとっても自己有用感や自己肯定感を高めること、自分自身の自信につながることであった。中新田中学校区の地域で育まれた夢と希望は、今後の進路や将来へ進むときの原動力となり、確かな志へとつながっていくことと考える。

② 自分の夢から自分の志への高まり

各校での志教育は、地域の方々の協力のもとで児童生徒に合った豊かな体験活動や交流活動を進めることができた。さらに、異校種での連携事業を通して、小中高等学校の発達段階に沿った「志」の育成を図ることができた。中新田地区の豊かな環境を太い軸として、児童生徒が地域をはじめ学校間での体験・交流を通して、「夢から憧れ・希望、希望から志へ」と将来を考える思いを高めていくことができることが分かった。高校卒業後は、やりがいのある仕事や勉強に打ち込み、自分のためだけでなく広く社会のためになる人材、ふるさと中新田での学びに自信と誇りをもった人材となることを期待したい。

(3) 今後の課題

① 地域との連携，地域への発信

小中高連携事業を通して改めて本地区の地域・人材等の豊かさが確認できた。そして、地域での交流学習を各校で積極的に進めてきたが、このような有意義な学習活動について広く地域に発信することができたかということ、十分とは言えない。活動の様子を発信することで、児童生徒の学びや成長の過程を理解していただき、それが、地域の喜びや活性化にもつながると考える。児童生徒と地域がより身近になるためにも「志教育便り、学校便りの発行・配布」や各活動への参加の呼び掛けを今後も積極的に進めていく必要がある。

② テーマの共有と地域を軸にした継続・段階的な取組

地域における連携事業によって、児童生徒が自分の将来を考えたり自分に自信をもったりすることができた。昨年度よりも向上的変容が見られたのは、これまで以上に教職員と地域が中新田中学校区志教育のテーマを共通理解できたことが考えられる。今後、連携事業を継続するためにも、志教育のテーマや小中高等学校の各段階における目標を教職員だけでなく地域や保護者とも確認していきたい。また、各連携事業を継続できるよう担当者会議と事業の計画・実施のシステムを確実に引き継いでいきたい。継続する中で、校種を超えた実践をさらに工夫し、学ぶ世界を広げながら、地域についてより深く学び、ふるさと中新田に誇りをもった児童生徒を育む中新田の志教育を本地区全体で推進していきたい。



畠山さんとの交流の様子

Ⅱ 各校の志教育の実践の様子

- 1 中新田小学校
- 2 広原小学校
- 3 鳴瀬小学校
- 4 中新田中学校
- 5 中新田高等学校



学校名	加美町立中新田小学校	学年・教科等	6年総合的な学習の時間
活動名	私ができること	実施日	4月～3月

〈志教育の視点〉

- ・ 実際にボランティア活動に取り組んでいる方との交流を通して、活動しているときの気持ちを理解し、より良い活動を考える。(かかわる)
- ・ ボランティア活動の取組の成果や課題を振り返り、自分自身の良さやこれからの自分の生活について考える。(もとめる)
- ・ 6年生として自分のことだけでなく、みんなのためにできることを身近な場面から見付け、主体的にボランティア活動に取り組む。(はたす)

〈実践の概要〉

1 どんなボランティア活動ができるか考え、計画を立てる。計画をもとに活動する。(4月～2月)

- ・ 1年生のお世話(給食時、業間時)
- ・ 低学年の読み聞かせ ・ 募金活動 ・ 古着回収
- ・ エコキャップ回収 ・ 清掃活動
- ・ 各家庭へ呼び掛け など

2 地域でボランティア活動に取り組んでいる方の話を聞く。(畠山京子さん 10月)

- ・ ボランティアを始めるきっかけ
- ・ 取り組んでいるボランティア活動について
- ・ ボランティアをする思いや考えについて

3 これまでの活動を振り返る(3月)

- ・ ボランティア活動を通して学んだこと
- ・ 継続していきたい活動

4 他校との交流(10月・1月)

- ・ 自分たちの取組を紹介したり、他校の活動のよさを確認したりする。



給食準備時の様子



畠山さんとの交流の様子

〔児童の感想〕

- 畠山さんのお話を聞いてだれでもできるボランティアや資格が必要なボランティアがあること、また、身近で気付かない所でもボランティアでがんばっている人がいることが分かりました。活動を通して多くの人と知り合えたり仲良くなったりできることも分かりました。自分でできることをしていきたいです。
- ぼくはボランティアをして疲れたと思うことがあるけれど、「みんなが助かるんだ」と思ってするボランティアは楽しくできるのでいいなと思いました。畠山さんの話を聞いて、もっと困っている人がいることが分かったので、助けたいと思いました。

〈成果と課題〉

1 成果

- ・ 校内ボランティア活動をする中で、下級生や地域の方々に感謝されることで、自己肯定感やボランティアに対する意識が高まった。(かかわる)(もとめる)
- ・ 地域の方からボランティアの体験や考えを聞くことで、自分たちの活動に自信をもち、ボランティアの意義について考えて主体的に活動できるようになった。(はたす)

2 課題

- ・ 校内での活動は活発に行うことができたが、校外での活動とつなげるのは内容や時間の調整が難しく子供たちの意欲に応えられないことがあった。

学校名	加美町立広原小学校	学年・教科等	全学年，休み時間
活動名	縦割り遊び	実施日	4月～3月

〈志教育の視点〉

- ・ 縦割り班のメンバーと一緒に遊んだり過ごしたりすることを通して，異学年で関わることの楽しさを味わう。（かかわる）
- ・ 互いに協力しようという心や思いやりの気持ちをもつ。（もとめる）
- ・ 計画を立てたり，中心になって遊びを進めたりする中で，5・6年生がリーダーとしての自覚をもつ。（はたす）

〈実践の概要〉

- 1 各班の6年生（1月からは5年生）が縦割り遊びの計画を立てる。（6月～3月）
 - ・ 6年生（1月からは5年生）で話し合い，縦割り遊びの計画を立てる。（毎月第1木曜日業間）
 - ・ 6年生は，1月から5年生にアドバイスをする。
- 2 各班ごとに計画を掲示板に書いて班のみんなに知らせる。（6月～3月）
 - ・ 「たてわり班コーナー」の掲示板に，縦割り遊びの日時，集合時刻，集合場所，遊びの内容等を記入し，班のみんなに知らせる。
 - ・ 班員は，その掲示を適宜見て，指示どおりに動く。
- 3 班ごとに楽しく遊ぶ。（6月～3月）
 - ・ 天気の良い日には外で，雨天時には体育館やホールで，6年生が立てた計画に沿った遊びをする。
- 4 反省とメッセージを書く。（6月～3月）
 - ・ 活動後，反省や次回への意欲を高めるメッセージを6年生（1月からは5年生）が班員に向け書く。
 - ・ 班員は，6年生が書いたメッセージを適宜読む。



縦割り遊びの計画を掲示するコーナー



校庭での縦割り遊びの様子

〔児童の感想〕

- たてわりあそびは楽しかったです。でんごんゲームをしたら，前よりもなかよくなりました。
- 毎回計画を立てるとき，1・2年生でも楽しめる遊びを考えました。1月からは5年生に計画を立てるときの注意点を教えていきたいです。



室内での縦割り遊びの様子

〈成果と課題〉

- 1 成果
 - ・ 下学年の児童は，6年生が考えてくれた遊びを安心して楽しみ，6年生の言うことをしっかり聞くようになった。いもほり等，別の活動の際にも，縦割り班内の仲のよさやみんなで協力する姿が見られた。（かかわる）（もとめる）
 - ・ 6年生が低学年でも楽しめる遊びを考えたり，掲示板に連絡事項を書く際に，全部の漢字にルビを振ったりするなど，年下の児童のことを考えた活動が見られた。（はたす）
- 2 課題
 - ・ 学習発表会等の大きな行事のため，実施できないことがあったので，来年度以降は行事の調整を適切に行い，確実に実施して，ねらいが達成できるようにしていきたい。

学校名	加美町立鳴瀬小学校	学年・教科等	全学年 生活科・総合的な学習の時間
活動名	農業体験・新米試食会へ向けて	実施日	5月～2月

〈志教育の視点〉

- ・ 農業体験を通して地域の自然に触れ、地域の人と進んで関わることでふるさとのよさに気付く。(かかわる)
- ・ 活動を通して野菜を栽培する楽しさを感じ、収穫物から味噌や豆腐作り等の体験を通して、仕事をするの大変さや喜びを味わい将来の職業について考える。(もとめる)
- ・ 種まきや苗植え・収穫、手作り体験を通して自分の役割をきちんと果たす。(はたす)

〈実践の概要〉

- 1 活動計画を立てる。
 - ・ サツマイモの苗植え体験（1・2年）
 - ・ 大豆の種まき体験（3・4年）
 - ・ 田植え体験（5年）
 - ・ 大根、白菜の栽培（6年）
- 2 計画に従い、農業体験を行う。
 - ・ カミックス、業務員のお世話をいただき実際に体験活動を行う。
- 3 収穫体験を行う。
 - ・ 稲刈り体験（5年）
 - ・ サツマイモ収穫体験（1・2年）
 - ・ 白菜・大根の収穫体験（6年）
 - ・ 大豆の収穫体験（3・4年）
 - ・ 新米試食会（全学年）
- 4 これまでの活動を振り返る。
 - ・ 味噌作り体験（3年）
 - ・ 大豆を使った豆腐作り体験（4年）
 - ・ 収穫物を加工したり、お世話になった方々へ感謝の気持ちを表す。



田植え体験の様子



味噌作り体験の様子

〔児童の感想〕

- 自分たちの育てた米でおいしいおにぎりができ、みんなに喜んでもらえてよかった。
- 田植えや稲刈りの仕事は疲れたけど、昔は手作業で仕事をしていて大変だと思った。
- 自分たちが造った味噌が、来年の新米試食会の豚汁の材料になることがとてもうれしいと思った。

〈成果と課題〉

- 1 成果
 - ・ 農業体験を通して地域の方々と関わる事ができた。栽培や収穫、収穫物からの加工体験を通して、農作業に親しみ、地域の自然や特産品などにも関心をもつことができた。(かかわる)
 - ・ 農作業の体験を通して仕事の大変さや収穫した野菜や穀物を使った加工食品について考えることができた。地域で栽培している農作物が、日本全国に広まっていくことに気付き、自分の将来の職業についても多角的に考えることができた。(もとめる)
 - ・ 苗植えや収穫などの農作業の体験に進んで取り組み、自分の仕事をきちんと行うことができた。この体験から、進んで仕事をする事の大切さに気付いた。(はたす)
- 2 課題
 - ・ 地域の方と連携して農業体験をしているが、野菜の苗や種を植えてから収穫するまでの過程を地域の方をお願いしている。野菜が育つ途中の過程の作業にも取り組ませることで充実した体験になる。
 - ・ 農業体験は、天候に左右される活動であり、さまざまな状況を想定した綿密な計画を立てる必要がある。そのためにも、協力者との事前打ち合わせをしっかりと行うとより連携が深まると考える。

学校名	加美町立中新田中学校	学年・教科等	2年総合的な学習の時間
活動名	職場体験学習	実施日	5月中旬
<p>〈志教育の視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業の実像をつかませながら、そこで用いる実際的な知識や技能を学ばせ、望ましい職業観や勤労観をもつ。（もとめる） ・ 地域や事業所に対する理解を深め、地域の産業やそこに働く人々の素晴らしさや大切さを発見し、地元に対する愛着や誇りをもつ。（かかわる） ・ 多くの職業人との触れ合いや交流を通じて、異世代とのコミュニケーション能力を高めるとともに、社会人としての基本的なマナーや言葉遣いなどを身に付ける。（はたす） <p>〈実践の概要〉</p> <p>1 体験までの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の希望を基に体験する事業所を決定 ・ 職場体験学習をする上でのルールやマナーの確認 ・ 生徒による体験事業所へのアポイントメント ・ 生徒による計画書の作成 <p>2 職場体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中新田地区 34事業所で職場体験学習を実施 〈活動例〉ヨークベニマル中新田店 ～9:00 出勤 9:00～ 打合せ 9:20～ 品出し、商品陳列、 野菜・果物のパック詰め 12:00～ 休憩 13:00～ 商品補充 15:00～ 退勤 			
			
		<p>職場体験学習の様子</p>	
<p>3 体験後の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験先への礼状作成 ・ まとめ新聞の作成と掲示 <p>〈成果と課題〉</p> <p>1 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業所で働く方々との会話から働くことの喜びや意義、苦勞などを聞くことで、保護者への感謝の気持ちをもつとともに、自己の将来の職業について真剣に考える機会となった。 ・ 地域での活動を通して、地域についてのさまざまなことを再発見させ、地域での生き方について深く考えさせることができた。 <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験からの学びには個人差があり、自己の将来に結びつけて考えることができない生徒もいるため、実態を把握し、個別に支援する必要がある。 			
			
		<p>職場体験学習のまとめ</p>	

学校名	宮城県中新田高等学校	学年・教科等	1学年キャリアプランI・2年総合的な学習の時間
〈活動名〉加美町産業研究（1年）・職場体験学習（2年）		〈実施日〉6～12月（1年）・4～8月（2年）	
<p>〈志教育の視点〉</p> <p>(1) 加美町産業研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加美町の産業の調査・研究を通して、課題発見や課題解決の方法を学ぶ。（かかわる・もとめる） ・ フィールドワーク後、課題解決の方策や自らの役割を考える。（はたす） <p>(2) 職場体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の現場にふれ活動することにより、働くこと、生きることの尊さを実感させ、勤労観、職業観を醸成する。（はたす・もとめる） ・ 社会人と関わることで、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。（かかわる・もとめる） 			

<p>〈実践の概要〉</p> <p>1 具体的な活動の流れ</p> <p>(1) 加美町産業研究（1年） 6月～12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 趣旨説明・課題研究の方法・課題研究・加美町の取り組み（講話）・マナー講習・事前研究・フィールドワーク・課題研究のまとめ・発表会 <p>(2) 職場体験学習（2年） 4月～8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 趣旨説明・訪問企業調査・マナー講習・企業へのアポイントメント・事前打ち合わせ・計画書作成・職場体験学習・まとめ・報告書作成 <p>2 実践</p> <p>(1) 加美町産業研究（1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5名程度の班に分かれ、商業・工業・教育・福祉・農業・行政の分野に分かれ事前に質問事項を送付し、当日取材をしながら内容を深める。訪問先は38事業所。 <p>(2) 職場体験学習（2年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次の加美町産業研究から実際に働く現場を体験することで「働くこと」への理解を深める。実施は夏休み最初の3日間で行う。体験先は45事業所。 <p>3 事後学習</p> <p>職場体験学習の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 礼状作成及び送付・報告書の作成（加美町産業研究においては課題発見及びその解決方法と自らの役割の検討、職場体験学習については体験のまとめと「働くこと」についての自分なりのまとめ） <p>〈成果と課題〉</p> <p>1 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加美町産業研究を通して、産業を多角的に捉えようとする事ができた。（1年） ・ 加美町産業研究から職場体験学習へ継続性をもたせることで、「働くこと」への理解を深める事ができた。（2年） ・ 地域の方と接する機会を得ることで、マナーや会話力を向上させる事ができた。 <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体性をより向上させる必要がある。 ・ 効果的に継続するためには、3年間を見通したキャリア教育の計画性・連続性の一層の強化と、運営の方法等の整理が必要である。 		
---	--	--

Ⅲ 志教育連携事業の実践

- 1 小小交流
- 2 小中交流
 - i 小学6年生が中学校で交流
 - ii 中学1年生が3小学校で交流
 - (1) 中新田小学校
 - (2) 広原小学校
 - (3) 鳴瀬小学校
- 3 中高交流
- 4 志教育講演会



1 小小交流

(1) 実践の概要

① ねらい

- ・ 6年生同士で交流させ、仲間意識と中学入学への期待感をもたせる。
- ・ 各校の志教育に関わる活動を紹介し合うことで、中新田地区のよさを確認し、今後の中新田について考えさせる。

② 期 日

- ・ 平成27年10月1日（木） 13:15～15:00

③ 活動内容

ア 交流会Ⅰ

3校を8グループに分け、簡単な交流ゲームを行った。ゲームをしながら、自己紹介をしたり自分の夢を発表したりした。

イ 交流会Ⅱ

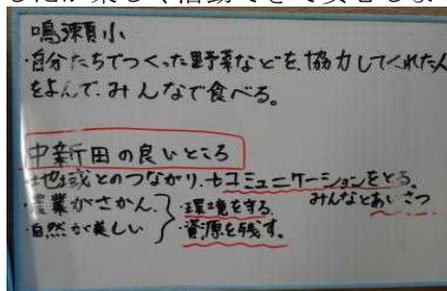
全体で各校の志教育に関わる活動内容を発表した。その後、中新田のよさや将来の中新田についてグループ討議を行った。

④ 児童の感想

- ・ 初めて3校で交流して楽しかったことはゲームです。このメンバーではめったにできないし、みんなと話をすることができたからです。また、自己紹介ではみんなの夢をきくことができてよかったです。また、班ごとに中新田のよさを発表しました。みんなの意見をまとめるのは難しかったけれど、しっかり発表することができてよかったです。中小、広小、鳴小は、中学校でいっしょになるので、中学へ行っても仲良くしたいと思います。次の小中交流会でもいっしょに活動するので、もっと友達をつくりたいです。
- ・ 3校で交流して初めて話合いをしました。中新田には、自然がいっぱいあり、農業がさかんなことがよさだと思います。これを守るためには自然をこわさないことが一番だと感じました。さらにすてきな中新田にするためには、伝統をもっと発展させれば、にぎやかでいい町になると思いました。また、班に分かれてゲームや自己紹介、活動紹介をしました。ゲームでは、楽しく3校で交流できました。活動紹介は、鳴瀬小とちがう活動をしていることが分かりました。今度は、小中交流会で再会するので、どんな部活に入るかなど話をし、交流を深めたいです。
- ・ 交流会の班の話合いで、中新田にはいろいろなお店があり、おいしい米や地酒、あゆなど、たくさんいいところがあることが分かりました。それから、鳴瀬小と広原小のみんなも中新田のよいところを考えてくれました。グループで協力して活動できてよかったです。特に、みんながこれがよいと言っていたのが虎舞です。虎舞は中新田のお祭りで大イベントだし、いろいろな人が楽しめるからという意見がありました。交流会の前は、不安がいっぱいでしたが楽しく活動できて安心しました。



交流Ⅰ「自己紹介と夢紹介の様子」



「話合いで使ったボード」



交流Ⅱ「グループ討議の様子」



交流Ⅱ「3校の活動紹介」



交流Ⅱ「グループ討議の様子」



交流Ⅱ「討議の全体交流の様子」

(2) 成果と課題

① 成果

- ・ 小規模校の児童にとっては、多人数での交流は大きな刺激となった。初めは緊張した面持ちであったが、交流Ⅰのゲームでは笑顔や会話する姿が見られるようになり、交流Ⅱのグループ討議では自分の意見を発表することができた。初対面であったが自分から声を掛けたり触れ合ったりとコミュニケーションをとる有意義な体験になった。
- ・ 中新田小は多人数なので、広原小、鳴瀬小の児童に積極的に言葉を掛けていくことを指導していた。どのグループも相手を受け入れる雰囲気できていて、和やかに交流ができた。短い時間だったが、交流したことで友達意識が芽生え、中学校生活に対する期待感をもつことができた。また、5日後の小中交流会へ効果的につなぐことができた。
- ・ 志シートに記入していた自分の夢を臆せず紹介できる児童がほとんどで、お互いの将来や夢に対する考えを交流することができた。

② 課題

- ・ グループ討議後の全体会の終わりに、「中新田のよさ」「これからの中新田」について全体で確認すれば、さらに各校の活動で意識して活動したり事例発表会に生かしたりすることができる。

③ 次年度へ向けて

- ・ 小小交流会は、小中交流会前に実施し、児童同士のかかわりを深めさせ中学校に対する期待感をもたせる。
- ・ 各校の担当者（志教育担当・6年担任）の事前打合せで、交流会のねらいや内容、進行等、確実に共通理解することが必要である。小小交流会は中新田小（会場）が担当し、企画・調整等を行う。

2 小中交流

i 小学校6年生が中学校で交流

(1) 中新田中学校

① 活動内容

ア 授業体験 (13:50~14:30)

中学生と合同で、小学生が中学校の授業を体験した。



理科～鶏の関節(解剖)



理科～身のまわりの物質



保健体育～アイスホッケー



英語～アルファベットの活動



数学～文字式の利用



質問タイム

イ 中学校生活への質問タイム (14:40~15:00)

小学6年生が、中学校生活に対して疑問に思っていることを中学2年生に質問し、中学生はそれに回答した。

ウ 部活動体験 (15:15~15:45)

中学校にある14の部活動のうち、小学6年生が希望する部活動に参加し、中学生とともに活動した。

② 感想

〔体験した中学生の感想〕

- ・ 中学1年の時は小学校に出向いて行ったが、今回は中学校に小学生が来ました。中学校の様子が少しでも分かったと思うのでよかったですと感じました。
- ・ 小学生にアドバイスをしながら楽しく学習することができました。6年生が入ってくるということは私も中学3年生になるんだということを自覚しました。
- ・ 私たちが3年生になるにあたって、入学してくる1年生に優しく接していかなければと思いました。分からないことや他の生徒と関われないような人もいたので積極的に話しかけるようにしていきたいです。
- ・ 部活動体験では、たくさんの小学生が参加してくれてうれしかったです。でも、3年

生になったら、部長に任せっきりにしなくてサポートしながら活動しなくてはいけないと思いました。

- ・ 数学の問題の解き方を素早く答える6年生がいて驚きました。私が先輩としてしっかりしなくてはいけないので、これから勉強も頑張っていきたいです。

〔体験した小学6年生の感想〕

- ・ 体育の授業に参加してみて、遊びのような感じで体育を楽しめるけど、ばつゲームでうで立てふせを10回させられけっこうきつく感じました。いつも授業でやっているとしたら、すごく筋肉がつくんだろうなと思いました。
- ・ 部活動見学では、サッカー部の見学しました。実際に中学生と一緒にサッカーをしてプレーの差があってすごいと思いました。ぜひ、来年サッカー部に入りたいです。
- ・ 理科の授業で手羽先を解ぼうとして筋肉の働きを見ました。そこでは、中学2年生の先輩がカミソリで手羽先を切るすがたを見てすごいと思いました。先輩がやさしく教えてくれたのでよかったです。

③ 成果と課題

ア 成果

- ・ 中学生と小学生と一緒に学習をする活動は、2年生にとって2度目となった。昨年度小学校に訪問して活動していることもあり、積極的に小学生にアドバイスしながら学習に取り組む姿が見られた。
- ・ 学習活動を通して、中学生の意欲付けになったようである。また、今後の進路の在り方について考える機会となり、中学生にとっては仲間を思いやる気持ちや自己有用感を高めることができた。

イ 課題

- ・ 部活動体験において、剣道部1名、卓球部3名と極端に少ない部活動があった。
- ・ 中学校の一年間や生徒会活動、校則などを生徒が説明したり、授業では中学生が既習内容を小学生に分かるように教えるような形式で進めていく方法も検討していきたい。

2 小中交流会

ii 中学1年生が3小学校で交流

(1) 中新田小学校

① 活動内容



5年 音楽
「リコーダーの演奏に挑戦」



4年 図工
「コリントゲームを作ろう」



5年 家庭
「ミシンでバッグを作ろう」



2年 図工
「ひかりのプレゼント」



4年 体育
「マット運動」



3年 書写
「右払い・左払い」

② 感想

〔交流した小学生の感想〕

- ・ 先日は体育のマット運動を教えてくれてありがとうございました。中学で習う技を見ることができて上手でした。これからも勉強がんばってください。
(小学4年生)
- ・ 中学生のみなさん、ありがとうございました。カッターをつかっているとき「だいじょうぶだよ。」とやさしくいってくれてありがとうございました。
(小学2年生)

③ 成果と課題

ア 成果

- ・ 昨年度の反省から、中学生の活躍の場を取り入れた授業を設定したところ、中学生は進んで小学生に関わり、自分の持ち味を發揮することができた。自己有用感や自己肯定感をもつことにつながったと考える。小学生は、優しく教えてもらったりほめられたりしたことで、中学生をより身近に感じ、あこがれの気持ちを大きくした。また、来校することを期待している。
- ・ 受け入れる担任の体制ができていて、中学生が学級の雰囲気や授業にすぐ馴染んで活動することができた。

イ 課題

- ・ 小学生が書いた中学生への手紙や中学生の振り返りを交流できるようにし、交流後の互いの意識の向上の変容を自覚させたい。
- ・ 来年度も、天候にかかわらず、中学生の下校の安全を確保できるよう担当で配慮したい。

(2) 広原小学校

① 活動内容



1年 図工
「木を使って作ろう」



2年 国語
「言いつたえられているお話を知ろう」



3年 体育
「跳び箱運動」



4年 図工
「いつもの場所がへんしん」



5年 図工
「立ち上がれ！マイライン」



終了後
整列し挨拶をして帰校

② 感想

〔交流した小学生の感想〕

- ・ ちゅうがくせいのおねえさん，ずこうのときあぶないところをかわりにやってくれてありがとうございました。おねえさんは先生みたいでした。(1年男子)
- ・ 中学生のお姉さんにむかし話をいっぱい読んでもらってうれしかったです。読み方がとてもじょうずで，わたしも中学生になったらこんなにじょうずに読めるのかなと思いました。(2年女子)
- ・ 中学生がとびばこの横についてくれたので，安心して台上前てんができました。うまくできるようになってうれしかったです。(3年男子)

③ 成果と課題

ア 成果

- ・ お世話をしてくれた中学生に対する尊敬やあこがれの気持ちをもつ児童が多かった。今後，この活動を続けていくことで，小学生にとっては中学校へのあこがれや親近感がさらに増すと考える。また，中学生にとっても，自己有用感を持つ活動になっているので，来年度以降もぜひ続けていきたい。
- ・ 低学年で，少々危険を伴う作業を手伝ってもらい，けがなく学習ができ，とても助かったという担任からの声があった。

イ 課題

- ・ 昨年に比べ，来校してくれた中学生を生かし切れていない学年があった。事前に「何をしてほしいか」を担任に聞いて中学校に示すようにするとよかった。
- ・ 6年生にとって10月初めは，9月の修学旅行のまとめの時期であり，学習発表会練習開始の時期でもある。実施時期が厳しかったという担任からの声があった。
- ・ 移動時の安全を配慮し，来年も町バスを利用できるよう，早めに予約が必要である。

(3) 鳴瀬小学校

① 活動内容



1年 体育
「とびばこあそび」



2年 体育
「ドッジボールあそび」



3年 書写
「はねの書き方」



4年 理科
「とじこめた空気と水」



5年 図工
「立ち上げれ！マイライン」



終了後
教頭先生に挨拶をして帰校

② 感想

〔交流した小学生の感想〕

- ・ 中学校のお兄さんとお姉さんにボールの上手な投げ方を教えてもらいました。ぼくの投げたボールが中学生のお姉さんに当たったのでうれしかったです。(2年男子)
- ・ この間の理科の授業はとても楽しかったです。中学生のみなさんへどのようにしたら「空気でっぼう」の玉を遠くにとばすことができるか相談したら、アドバイスして下さったので遠くへとばすことができました。(4年女子)
- ・ ぼくは中学生のみなさんと図工の授業をして、中学生にアドバイスをもらって「出来上がり」を想像して作る大切さを教えていただきました。その結果満足できる作品を造ることができました。(5年男子)

③ 成果と課題

ア 成果

- ・ 手本を示してくれる中学生がてきぱきしていて素晴らしく、「自分たちも中学生になったら」というあこがれや尊敬の気持ちを深めることができた。
- ・ どの学年も中学生に手伝ってもらったり教えてもらったりすることができて楽しく活動することができた。
- ・ 本校出身以外の中学生も多数来校し、気軽に小学生に声を掛けて活動を盛り上げてくれた。また、皆がとても礼儀正しく、小学生のお手本となる行動を示してくれた。

イ 課題

- ・ 昨年同様に、中学生の移動について話題となったが、移動方法として町のバスの利用を今年度のように事前に計画に組み入れ、安全面に継続して配慮していきたい。
- ・ 中学生が更に活躍できる活動内容や学習場面を考え検討していきたい。

3 中高交流

(1) 中新田高等学校

① ねらい

中新田で学ぶ生徒として、地域に対して自分たちができることをお互いに考え、地域をよりよくしていこうとする態度を養う。

〈中学生〉

2年後、3年後の自分の姿を具体的に描き、高校生活の目標をもたせる。

〈高校生〉

中学生とのかかわりを通して、自己有用感、自己肯定感を高める。

② 実践の内容

〈部活動交流〉

○ 通常の活動

年間を通して交流。指導者同士が技術的な情報交換を行っている。

選手間で技術面等の情報共有や交流がある。

○ 遠征

中学生1名が、宮城高校選抜の高校生とともに、2大会遠征をした。

大会1 東北総合体育大会兼東北国体ブロック予選

場 所 岩手県盛岡市 御所湖漕艇場

成 果 K4（四人乗り）500m 2位

大会2 平成27年度文部科学大臣杯日本ジュニアカヌースプリント選手権大会

場 所 山梨県富士河口湖町 精進湖カヌー競技場

成 果 K4（四人乗り）200m 5位 500m 7位

③ 感想

〔体験した中学生の感想〕

高校生とともに戦ったこの大会での経験は、僕にとってとても貴重なものとなりました。いつもは中学校の仲間同士で、あまり気を遣うことなく練習や大会に臨んできました。しかし、今回は初めて高校生と一緒に、会場への移動や宿泊を含め、長時間を共にすることで緊張もありましたが、多くのことを学ぶ機会になりました。大会期間中、準備や片付け、練習メニューに関しても、先生から細かい指示を言われずに自分たちで考えて行動しなければなりません。これまでは、指示されたことをこなすことが多かった僕は多少戸惑うこともありましたが、そこから学んだことは、高校生ともなれば、指示されて初めて動くのではなく、自分で何をすべきかを考えて自主的に行動しなければならないということです。先輩方の姿からは、目標に向かい、自分の役割を理解して行動に移すという高い志を感じました。そのような先輩方と同じ艇に乗り、練習



し、レースをすることができたことをとてもうれしく思います。カヌー選手として、先輩方のようにになりたいというあこがれをもちました。

また、一緒に生活する中で、カヌー選手としての姿以外にもたくさんのことを学ぶことができました。礼儀や言葉遣い、移動時や宿舎での生活でも自分から進んで行動することなども身に付けることができましたと思います。

〔体験した高校生の感想〕

高校生の遠征は中学校の遠征に比べ派遣期間が長期間になります。だいたい1週間程度大会によっては10日以上という場合もあります。

〇〇君も今までの遠征とは異なり、不安やストレスがあったと思います。しかし、ともに遠征をしていく中で、何をしたらよいかと常に私や先生方に質問をし、改善していく様子が見られました。遠征中の生活面や試合に臨む姿勢も遠征初日と最終日では、「成長したな」と見違えるほど変化があったように感じます。そして、彼のがんばる姿に私をはじめ、他の高校生も刺激を受けることができました。今回の遠征はお互いに刺激になり、成長することができました。そして、私の出身中学校の選手と一緒に遠征できたことは、貴重な経験であり、とても嬉しいものでした。



④ 成果と課題

ア 成果

平成12年に鳴瀬川カヌー競技場および海洋センターが整備され、中学校・高校ともに、この水域で活動している。この施設は競技者と応援者の距離が近い全国的に誇れる県内唯一の競技場である。この環境整備により飛躍的に競技力が向上した。また、全国大会規模の大会が過去3回開催されている。(平成13年度宮城国体・平成23年度インターハイ等)さらに、加美町のスポーツイベントとして「ドラゴンカヌー大会」が毎年開催され県内外から参加チームが集まり盛況である。今回平成21年度以来中学生が高校生の遠征に参加となった。本人たちからの感想にあったように、中学生高校生とも遠征を通じ、よりよい交流ができた。今後、さらに交流を深め将来この地域からオリンピック選手を輩出したい。

イ 課題

今年度は様々な課題があり、1種目の交流となった。しかし、交流を行った生徒の感想からも分かるように、中学生にとって高校生との交流は大変刺激的で、将来の目標を見つけることにも有意義であったことがうかがえる。志教育という観点だけでなく地域を見据えた教育活動として、交流活動を位置付けられるようにしたい。そのためには、今後は更に情報交換を密にしながら、様々な運動部および文化部を中心に交流活動ができればと考える。

4 志教育講演会

(1) 実践の概要

① ねらい

- ・ 中新田地区出身で、夢や志を高くし、現在も自分の職業や仕事に誇りややりがいをもって取り組んでいる方の話を聞くことで、自分の将来に希望や期待感をもたせる。
- ・ 地域の方の中新田への思いを聞くことで、中新田地区のよさを実感させ、ふるさとに誇りをもてるようにする。

② 期 日

平成27年11月4日（水） 13:30～15:30

③ 場 所

中新田文化会館（バッハホール）

④ 演 題

「夢に向かって」

⑤ 講 師 いがらし みきお氏（漫画家）

【プロフィール】本名：五十嵐三喜夫，漫画家，加美町出身
1983年第12回日本漫画家協会賞優秀賞受賞
「ぼのぼの」で講談社漫画賞受賞
1998年「忍ペンまん丸」で第43回小学館漫画賞受賞
2014年「羊の木」第18回文化メディア芸術祭優秀賞
他多数の活躍がある。特に、「ぼのぼの」はかわいらしい動物のキャラクターとディスコミュニケーションによる哲学的な笑い等の作風が人気を呼び、幅広いファン層を獲得。20年以上にわたる連載に加え絵本やぬいぐるみ、アニメ化されるなど記録的な大ヒットとなった。また、加美町の観光大使を務め、今年は花楽小路商店街に町民憩いの場「ぼのぼの庵」の設置に際し、全面協力を行った。



⑥ 参加者

中新田中学校全校生徒，中新田小学校6年児童，広原小学校6年児童，
鳴瀬小学校6年児童，教職員

⑦ 児童生徒の感想

- ・ 私はいがらしさんの話を聞いて、今よりさらに夢をあきらめずにがんばろうと思いました。どんなかべに当たってもあきらめない、いつも自分のとがりには夢があることが分かりました。話を聞けば聞くほど、あきらめないでがんばることの大事さを感じました。(小学6年生)
- ・ いがらしさんは、ぼくにとって夢をもつ先輩だと思いました。いがらしさんの夢は漫画家でした。得意な絵をかくことを夢に生かしているところがすごいと思いました。(小学6年生)
- ・ 私の将来の夢は、小学校の先生です。そのために、字をきれいに書く、勉強を得意にすることなどがとても必要だと思っていました。でも、何をするにしても夢をもつことは必要だということが分かりました。苦しいときでも、自分の夢を忘れないようがんばっていきたいです。(小学6年生)

- ・ いがらしさんの話を聞いて、「志をもつことは夢をもつこと」の意味が分かりました。考えてみると夢に向かって生きることは良いことです。また、いじめは悪いことだと改めて思いました。いがらしさんの話を聞いて、自分に自信をもつことができました。(小学6年生)
- ・ …私も小さい頃から夢をもっていますが、具体的には何をしたら良いか分かりませんでした。でも、お話をお聞きしてどんなことも結局は夢のためになることが分かりました。私自身も様々なことに一生懸命挑戦し、やりたいと思うことを突き通していきたいです。また、自分が大人になったとき、自分の人生が良かったと思えるような充実したものになるようにいらがしさんを見習って、チャンスを無駄にせず何事も積極的に取り組んでいきたいです。(中学生)
- ・ 小さな夢や大きな夢、人それぞれ夢や夢の大きさは違いますが、自分のなりたい職業に向かってあきらめずに前に進み続ける大切さをいがらしさんの経験から学ぶことができました。私の将来にも失敗は山ほどあると思います。そんな時でももち続けることのできる夢を大事にしたいと強く思いました。夢に向かって勉強などを頑張ろうと思います。…夢をかなえてからつかむ幸せだけでなく、夢をかなえるために努力し、そこでつかんだ幸せも手に入れたと思います。(中学生)
- ・ いがらしさんのお話を聞き、周りに流されない強い自分自身をもっている方だと思いました。自分が思ったことは最後まで貫き通すその姿がとてまかつよかったです。いがらしさんのお話は参考になることが多く、その中でも『夢をもつことで、人は一生懸命になれる』という言葉の意味を聞き、その通りだと思いました。改めて夢をもつことの大切さを感じ、今、私が持っている夢をかなえたい、かなえてみせると強く決心できました。(中学生)
- ・ いがらしさんは、家出をしたりいじめられたりといろいろな苦勞をしてきたけれど、漫画家になりたいという夢をもってそれをかなえることができたことが本当にすごいと思います。夢は自分の背中を押してくれる存在でもあるのだと私は感じました。(中学生)

(2) 成果と課題

- ・ いがらしみきおさんの講演を聞くことで、児童生徒は、中新田で育った偉大な先輩という尊敬の念と親近感をもつことができた。多感で不安を抱えることの多い児童生徒が、いがらしさんの小学校、中学校の経験を聞き、自分たちと重ね合わせて考えることができ、夢をもつことや将来に希望や自信をもつことができた。
- ・ 今回は全国的に活躍されている方の講演であったが、来年度も志をもって仕事をされている方、自らの思いを大切に信念をもって活動されている方の講演会を開催したい。地元の方々等、人材を確保したい。
- ・ 事前に PTA や地区に講演会の開催を知らせたが、平日ということもあり、多くの参加には至らなかった。来年度は、広報の時期や方法について再検討したい。



いがらしさんの講演



中学生によるお礼の言葉

IV 中新田っ子供りの紹介

夢をいだいて大海をめざそう！中新田中学校区志教育

中新田っ子供り

中新田中学校区志教育連絡協議会 事務局 中新田小

夢をいだいて大海をめざそう！中新田中学校区志教育

中新田っ子供い

中新田中学校区志教育連絡協議会 事務局 中新田小

10月20日発行

中新田中学校区志教育推進協議会では、中新田小学校、広原小学校、鳴瀬小学校、中新田中学校、中新田高等学校の5校の連携を図って、志教育の「かかわる」「もとめる」「はたす」の3つの視点を柱に子供たちの夢や志を育てる交流や活動を積極的に取り入れています。

この取組には、中新田地区の皆様のご協力が必要ですので、中新田っ子の志の育成のためにも、ご支援をよろしくお願いいたします。

3小学校の交流会を実施しました

10月1日（木）に、広原小学校、中新田小学校、鳴瀬小学校の6年生128人が参加し、交流会を行いました。初めは緊張していたようですが、学校の枠を外したグループで交流ゲームや自己紹介をすることで、笑顔で活動することができました。また、夢を互いに聞き合い、自分の夢に自信をもって友達に夢を共感したりすることができました。短い時間でしたが、顔を合わせて交流することで、「中学校へ行くのが楽しみ」「不安があったけどなくなった」との声が聞かれました。5ヶ月後には中新田中学校で一緒に活動する仲間です。ちょっと前に友達ができる、よい機会となりました。

3小学校で志に関わる学習活動を紹介し合い、それぞれの学校のすてきな活動を知りました。さらに、中新田地区のよさ（自然の豊かさ、地域の方の温かさ、農作物、商店街、伝統芸能など）をたくさん確認しました。中新田地区のよさを継続していくためにできること、もっとすてきな中新田地区にするために自分たちにできることをこれから児童は考えていきます。



【自己紹介・夢の発表】



【活動発表】



【交流ゲーム】

6年生の感想

- ・交流会で、中新田のよさは、中新田に住んでいる人は優しいという意見が出て、確かにいつも道を歩いているとあいさつをしてくれると思いました。こんな優しい人たちがいる中新田のよさを残すためには、日ごろ、自分からあいさつをすればいいと思いました。今回の交流会では、レクリエーションをしたり自己紹介したりして鳴瀬小学校や広原小学校のみんなと仲良くなれてよかったです。それから、自己紹介のときにみんなの夢を聞いて、それぞれみんなの夢は合っているなと思いました。次の小中交流会で、また会えるので楽しみです。
- ・私は、この交流会を通して中学校に行くのが楽しみになりました。女の子の友達ができるととてもうれしいです。中学校で会うやくそくをしました。ゲームでは失敗しないか不安でしたが、みんな笑って楽しんでいました。夢の発表では、サッカー、ようち園の先生が多かったです。

小中交流会を実施しました

10月8日(木)に小中交流会を実施しました。中新田小学校、広原小学校、鳴瀬小学校の6年生が中新田中学校で授業体験と部活動体験をしました。6年生は中学2年生と一緒に受けた授業や部活動は楽しく、中学校に入学することに期待感をもちました。

また、同日、中新田中学校1年生の生徒が、3つの小学校に来て、1年生から5年生までの授業に入って、ミニ先生として活躍しました。中学生が来ると小学生からは歓声が上がり、満面の笑顔になっていました。中学生は、体育のマット運動、音楽の鍵盤ハーモニカやリコーダー奏、国語の習字などで、お手本を見せたり手を取って教えたりと微笑ましい姿が見られました。また、小学生は「うまいね!」「その調子だよ!」「できたね!」と先輩から温かい言葉を掛けられ、たいへん喜んでいました。小学生は中学生に対する尊敬や憧れの気持ちが大きくなり、中学生は自分のよさ(自己有用感)を実感できる機会になりました。



- ・私は3年生の習字の授業の手伝いに行きました。「大」の右払いが難しそうでしたが、みんな一生懸命練習してすごいと思いました。私も先生に習って一緒に筆を持って教えました。教えて、「ありがとう」や「上手だね」と小学生に言われるのは嬉しかったです。練習後にみんながもう一回「大」という字を書きました。最初よりもみんなきちんと特徴をつかんで上手に書いていました。「先生、上手に書けた!」と嬉しそうに言っていて、私もきちんと教えることができ良かったです。来年は、自分が迎える立場なので、楽しく教えて中学校の良さを伝えたいです。(中学1年生)
- ・先日は体育のマット運動を教えてくれてありがとうございました。中学で習う技を見ることができて上手でした。これからも勉強がんばってください。(小学4年生) ・中学生のみなさん、ありがとうございました。サッカーをつかっているとき「だいじょうぶだよ。」とやさしくいってくれてありがとうございました。(小学2年生)



- ・6年生と一緒に理科の授業をして自分の復習になり、また、中学校生活について教えることができました。部活動見学では、美術部にたくさんの6年生が来てくれて忙しかったのですが、来年、部室がにぎやかになってくれればいいと思います。6年生は、マーブリングやスパッタリングが上手で、どんな絵を描いてくれるかが楽しみです。今回の小中交流会で、自分の後輩と交流できて嬉しかったです。来年もこの会が続いて新1、2年生が小学生と楽しく交流できるといいと思いました。小学生の不安が少しでも和らげばいいです。(中学2年生)

お知らせ 志教育講演会

講師は、中新田出身でご活躍のいがらしみきおさんです。小学6年生と中学生に「夢をもつこと」をテーマに講話していただきます。どうぞおいでください。

日時：11月4日(水)13:30~15:30

場所：中新田文化会館(バッハホール)



夢をいだいて大海をめざそう！中新田中学校区志教育

中新田っ子便り

中新田中学校区志教育連絡協議会 事務局 中新田小
12月7日発行

中新田中学校区志教育推進協議会では、中新田小学校、広原小学校、鳴瀬小学校、中新田中学校、中新田高等学校の5校の連携を図って、志教育の「かかわる」「もとめる」「はたす」の3つの視点を柱に子供たちの夢や志を育てる交流や活動を積極的に取り入れています。

この取組には、中新田地区の皆様のご協力が必要ですので、中新田っ子の志の育成のためにも、ご支援をよろしくお願いいたします。

志教育講演会を実施しました

11月4日に、漫画家として全国的に活躍されているいがらしみきお氏による講演会を実施しました。いがらしさんは、「ぼのぼの」「忍ペンまん丸」などの大人気の漫画の出版、映画の制作だけでなく、加美町の観光大使としても広く活躍されています。今回は、「夢に向かって」という演題で、いがらしさんの小学校・中学校時代からこれまでの豊かな経験をユーモアあふれるエピソードを入れながら、夢をもつことの大切さをお話してくださいました。中新田中学校全生徒、中新田小、広原小学校、鳴瀬小学校の6年生が、今の自分とこれからの自分を考えながら話を聴くことができ、更に、自分の将来に希望をもつことができました。



□児童生徒の感想

- 私はいがらしさんの話を聞いて、今よりさらに夢をあきらめずにがんばろうと思いました。どんなかべに当たってもあきらめない、いつも自分のとがりには夢があることが分かりました。話を聞けば聞くほど、あきらめないでがんばることの大事さを感じました。(6年生)
- お話を聞く前は、夢のために何かしようという気持ちはありませんでした。でも、講演会が終わってからは、夢のために何か努力しようと思うことができました。私もいがらしさんのようにあきらめず夢に向かってがんばりたいです。(6年生)
- 子供のころから絵をかいていたから漫画家として活躍したと思います。私も夢をもちたいと思いました。自分がかいた絵を使ってもらうのはとても嬉しいことだと思います。子供の頃からしていたことが夢につながることを知りました。多くの人との出会いを大切にしてこれからもがんばっていきます。(6年生)
- 小さな夢や大きな夢、人それぞれ夢や夢の大きさは違いますが、自分のなりたい職業に向かってあきらめずに前に進み続ける大切さをいがらしさんの経験から学ぶことができました。私の将来にも失敗は山ほどあると思います。そんな時でももち続けることのできる夢を大事にしたいと強く思いました。夢に向かって勉強などを頑張ろうと思います。…夢をかなえてからつかむ幸せだけでなく、夢をかなえるために努力し、そこでつかんだ幸せも手に入れたいと思いました。(中学生)
- いがらしさんのお話を聞き、周りに流されない強い自分自身をもっている方だと思いました。自分が思ったことは最後まで貫き通すその姿がとてまかつよかったです。いがらしさんのお話は参考になることが多く、その中でも『夢をもつことで、人は一生懸命になれる』という言葉の

意味を聞き、その通りだと思いました。改めて夢をもつことの大切さを感じ、今、私がもっている夢をかなえたい、かなえてみせると強く決心できました。(中学生)

加美町産業研究に取り組んでいます 中新田高等学校

中新田高等学校1学年では、「キャリアプラン」としてキャリア教育活動を実践しています。その一環として「加美町産業研究」を進めています。加美町産業の各分野をグループで調査・研究し、それぞれの職業の特性や課題を知ること、仕事の内容や意義、働く方々の思いなどを学び、職業理解を深めています。実際に職場を見学したり、インタビューしたりすることは、これからの自分の進路や生き方を考える上で、貴重な経験となっています。生徒は、改めて地域の方々の素晴らしさを実感しています。地域の方々の惜しみないご協力に感謝いたします。



小学校へ訪問

□中新田高等学校の生徒の手紙より

今回、私たちは小学校へ行き、授業見学とインタビューを通して様々なことを知ることができました。インタビューでは、先生にたくさんのことを聞くことができました。話を聞く中で、先生が子供のことが大好きなんだと感じました。今の高校生に求めることを尋ねた時に「小学生の憧れになってほしい。」という言葉があり、とても印象に残っています。私たちは、どう小学生の憧れになれば良いのかを改めて考え直し、生活していかなければならないと思いました。最後には人の前に立って手本になり一緒に楽しむことが大切だと感じました。子供の笑顔を見て頑張れると思いました。本当にありがとうございました。

* 高校生の来校に、小学生は大喜びでした。授業の中で自然に声を掛けてもらったり、質問に優しく答えてもらったりすることで、高校生の皆さんを更に身近に感じ、憧れの気持ちが大きくなったようでした。

中新田中学校区志教育事例発表会

中新田地区での豊かな体験や地域の方々と交流活動など志教育にかかわる実践を児童生徒が発表します。また、「自分たちが考える中新田のよさ」「これからの中新田」「これからの自分」について意見を話します。子供たちの学びや成長を多くの地域の皆様にお伝えしたいと考えています。お忙しい中ですが、ご来場を心よりお待ちしております。

日時：平成28年 1月29日(金) 13:30~16:00
場所：中新田文化会館(バッハホール)
内容：
・火伏の虎舞(中学生) ・志教育の活動発表(小・中・高校生)
・「これからの中新田、これからの自分」(小・中・高校生)
・地域の方からメッセージ など
*進行は、中新田高等学校の生徒が行います。



V 志教育年間交流表

中新田小学校

広原小学校

鳴瀬小学校

中新田中学校

中新田高等学校



平成27年度 中新田中学校区志教育年間交流活動表

月	中新田小学校	広原小学校	鳴瀬小学校	中新田中学校	中新田高等学校
4月	<p>【6年・総合「私たちにできること」】 ねらい：1年生の世話をするなど、自分の役割を果たす。 主な内容：登校時の世話、朝の読み聞かせ、給食準備・片付けの補助など</p>	<p>【6年・学活「1年生を迎える会の準備をしよう」】 ねらい：新しく入学した1年生を気持ちよく迎えらるよう、最上級生としての態度を身に付ける。 主な内容：1年生を迎える会の企画と運営 【1年・生活「どきどきわくわく1年生」】 ねらい：学校の先生や友達などとかかわることを通して学校に親しむとともに様々なルールを知り楽しく安全に学校生活を送る。 主な内容：登下校時や基本的な生活習慣についての話し合い・自己紹介遊び</p>	<p>【全校・「縦割り顔合わせ会」】 ねらい：6年生を中心に、交流し合い、1年間の活動に対する見通しをもつ。 主な内容：1 自己紹介 2 縦割り活動年間計画の作成</p>		<p>【全校・「初午祭ボランティア」】 ねらい：地域の伝統ある祭りに、ボランティア活動で参加しながら、地域文化を知る。また、地域にかかわり自</p>
	<p>【3年・総合「加美町の農業」】 ねらい：加美町の農業に携わっている方の思いや願いに気付く。 主な内容：農家の方と交流しながら田植え体験、エノキ工場の見学、大豆の播種体験</p>	<p>【5年・総合「米はすごい食べ物だ」】 ねらい：米作り体験や探究活動を通して地域への理解を深める。 主な活動：田植え体験</p>	<p>【5年・総合「田植えを体験しよう」】 ねらい：八幡小と中小と交流しながら田植えを体験する。 主な内容：田植え、さつまいもの植え付け作業を行う。昼食をともにし、よさこい踊りの発表</p>		<p>【1年・「進路講話」】 ねらい：講話を通して、学ぶ意味、働く意味を考える。また、目標達成に向けての自己啓発の仕方を学ぶ。 主な内容：外部講師による講話、振り返り</p>
5月	<p>【6年・総合「私たちにできること」】 ねらい：みんなのために自分たちができることを考えて実行する。 主な内容：救命救急講習会（2回）、清掃ボランティア、募金活動、古本の回収、ペットボトルキャップ回収など（～2月）</p>	<p>【3年・総合「広原っていいな」】 ねらい：広原のよさについて話を聞き、興味をもった野菜をテーマに選び、栽培の工夫や働いている人たちについて調べようとする気持ちを育てる。 主な内容：JAより講師を迎え、広原のよさについての講話及び興味をもった野菜について各自の選定</p>	<p>【全校・行事「地区合同運動会」】 ねらい：地区の方々と交流し、全力を尽くし、演技を披露し合う。 主な内容：地区の方とのエール交換、応援合戦、地区の方々との昼食</p>	<p>【2年・総合「職場体験学習」】 ねらい：働くことの意義を知り、将来の生き方を学ぶ。 主な内容：中新田地区の事業所で職場体験、礼状の作成、まとめのプレゼン</p>	<p>【1,2年・「出前授業」】 ねらい：上級学校の学びについて知り、自らの進路選択に役立てる。</p>
	<p>【小3年・中2年行事「花いっぱい運動」】 ねらい：地域の方と小中学生がふれ合いながら、町の緑化運動に参加する。</p>	<p>【5年・総合「米はすごい食べ物だ」】 ねらい：米作り体験や探究活動を通して地域への理解を深める。 主な内容：生育調査</p>	<p>【1,2年生活「さつまいもを植えよう」】 ねらい：地域の方に教えていただきながら、さつまいもの苗を植え、植物愛護の気持ちをもつ。 主な内容：学区内の畑にさつまいもの苗の植え付け作業（おまけでミニトマトの苗も植えました）</p>	<p>【3年・総合「東京を知ろう」】 ねらい：日本の中心地について課題を見出し、探究活動を通して、将来の生き方を学ぶ。 主な内容：企業等への訪問、調査活動、まとめのプレゼン</p>	<p>【1,2年・「社会人講話」】 ねらい：「社会人」と「学生」の違いや、社会の動向と産業構造等、経営に関わる方の講話から学ぶ。 主な内容：製造業と販売業の経</p>
6月					
7月	<p>【全校・業間「縦割り遊び」】 ねらい：異学年で遊びを通して交流を深める。 主な内容：高学年が企画準備した遊びを班ごとで行う活動（～12月）</p>	<p>【3年・総合「広原っていいな」】 ねらい：課題を解決するとともに広原のよさに気付く。 主な内容：見学・インタビュー・新聞作りでまとめ・新たな課題設定</p>	<p>【3年・総合「高砂会の方と交流」】 ねらい：地域のお年寄りと交流し、ゲートボールをしたり、鳴瀬の歴史を学ぶ。 主な内容：地域の歴史インタビュー、ゲートボール体験</p>	<p>【3年・総合「保護司との交流会」】 ねらい：よりよい社会の実現に向け考えを深め、将来をよりよく生きる態度を身に付ける。 主な内容：講話、交流会</p>	<p>【2年・「職場体験学習」】 ねらい：就業体験をすることで、進路選択への動機付けを高めるとともに、働くことの意義を学ぶ。 主な内容：事前準備、3日間の就</p>

月	中新田小学校	広原小学校	鳴瀬小学校	中新田中学校	中新田高等学校
8月	<p>【2年・生活「町探検をしよう」】 ねらい：中新田地区商店街の方々へのインタビューを通して地域のよさに気付く。 主な内容：地域の店を調べ、分かったことをまとめ、お礼の手紙の作成をする。</p>	<p>【3年・総合「広原っていいな」】 ねらい：加工用トマトの収穫体験やインタビューを通して働く人の苦労や収穫の喜びを知る。 主な内容：収穫の手伝い、質問</p>	<p>【4年・総合「鳴瀬川を調べよう」】 ねらい：水の汚れや生き物を調べ、鳴瀬川の様子を知る。 主な内容：河川協会の方を講師に迎え水質調査、及び生き物調査</p>	<p>【夏祭りボランティア】 ねらい：地域の老人ホームでのボランティア活動を通して、地域の福祉の活動を学ぶとともに自己有用感を高める。 主な内容：特別養護老人ホームでのボランティア活動</p>	<p>【3年・「社会人模擬面接」】 ねらい：就職試験を模擬体験することで、自己表現の方法を学ぶ。 主な内容：地域の方による模擬面接 【職場見学】 ねらい：実際の現場を知ること、自らの適性を考える。 主な内容：地域の方による模擬面接、</p>
9月	<p>【5年・総合「優しい心を育てよう」】 ねらい：高齢者の方の現状や介護士の方の仕事について理解を深める。 主な内容：高齢者体験、ディサービスでの自分たちの企画による交流会の実施、社会福祉協議会の方の講話などの視聴（～12月）</p>		<p>【5年・総合「民泊体験」】 ねらい：職場体験や農業体験を通して、地域の良さに気付く。 主な内容：農作業、職場体験、自然とのふれあい、民家への宿泊体験</p>	<p>【2年・総合「ライフプランニング研修会」】 ねらい：将来を展望させ、進路選択の意味の大きさを意識する。 主な内容：将来の生活について夢と経済的な視点から見直し</p>	<p>【全校・「絵本の読み聞かせボランティア」】 ねらい：子供とのふれあいの中で、自分の果たせる役割を考え、進路選択の参考とする。 主な内容：中新田小学校の1、2年生</p>
10月	<p>【小小交流事業】 ねらい：6年生同士が交流し、中学校に入学する前の準備としての仲間意識をもたせるとともに、中新田についての理解をより深める。 主な内容：自己紹介を含めたゲーム・各校の志教育の活動紹介・中新田の良いところ探し</p>				
	<p>【小中交流事業】 ねらい：中学生が小学生とともに活動することで自己有用感を高める。小学生は中学生の姿を見て、自分の未来の姿を具体的に描く。 主な内容：小学6年が中学校を訪問し中学2年生とともに授業体験、及び部活動体験 中学1年が各小学校を訪問し小学1～5年と一緒に授業を行い手本となる活動体験 小学生は、中学生の活動を見て将来の夢や希望を持つ授業体験</p>				
11月	<p>【3年・総合「加美町の農業」】 ねらい：農業に携わっている方々の思いや願いに気付く。 主な内容：稲刈りの体験、ネギ農家見学</p>	<p>【5年・総合「米はすごい食べ物だ！】 ねらい：米作り体験や探究活動を通して地域への理解を深める。 主な内容：稲刈り・もみすり体験</p>	<p>【5年・総合「稲刈りを体験しよう！】 ねらい：地域や八幡小と交流しながら米とさつまいもの収穫を体験する。 主な内容：収穫作業、交流活動、地域の食材（おにぎり・豚汁）の試食</p>	<p>【3年・総合「ライフプランニング研修会」】 ねらい：将来を展望させ、進路選択の意味の大きさを意識する。 主な内容：将来の生活について夢と経済的な視点から見直し</p>	

11月	<p>【全校・行事「中小祭を成功させよう」】 ねらい：出店に地域の方を招き、日頃の感謝の気持ちを伝える。 主な内容：全校合唱や低学年のダンスを披露し、3年生以上が出店の準備</p>	<p>【3年・総合「広原っていいな」】 ねらい：広原のよさを分かりやすく伝え地域を大切にしようという思いをもち、広原のよさや素晴らしさについて分かったことや知らせたいことをまとめて伝える。 主な内容：見学、インタビュー、まとめ、第1回発表会</p>	<p>【1, 2年・生活「収穫しよう」】 ねらい：収穫作業の仕方を知る。地域の方とのふれあいを大切にする。 主な内容：6月に植えたさつまいもの収穫 【3, 4年・総合「大豆収穫」】 ねらい：大豆の収穫方法や昔ながらの豆打ち作業を体験する。 主な内容：手作業の収穫の体験 昔ながらの収穫方法である豆打ち体験</p>	<p>【1年・認知症サポーター養成講座】 ねらい：町の課題である福祉と高齢化について必要な知識を身に付ける。 主な内容：町地域包括支援センターと連携し、講座を受ける。</p>	<p>【1年・「加美町産業研究」】 ねらい：地域の産業を研究することで、地域理解を深め自らの役割を考える。 主な内容：事前準備、フィールドワークを中心とした研究、事後指導 【全校・中新田図書館まつりボランティア】</p>
12月	<p>【2年・生活「さつまいも祭りをしよう」】 ねらい：1年生をお祭りに招き、一緒に収穫の喜びを味わう。 主な内容：2年生が準備したサツマイモの試食、及び収穫までの作業を伝える活動</p>	<p>【2年・生活「おもちゃフェスティバルをひらこう」】 ねらい：上級生として1年生のために活動する気持ちを養う。 主な内容：1年生を招待し、自分たちの作ったおもちゃで楽しんでもらう。 【5年・総合「米はすごい食べ物だ」】 ねらい：米作り体験や探究活動を通して地域への理解を深める。 主な内容：餅つき体験・ゲストティーチャーとの会食・縄ない体験・しめ飾り作り</p>	<p>【全校・生活・総合「新米試食会」】 ねらい：お世話になった地域の方に感謝しながら、収穫した食材を味わう。 主な内容：お世話になった方を呼び、体験学習に携わった地域の方々に感謝の気持ちを伝えるとともに、おにぎりや豚汁を試食する。</p>		<p>【1年・「加美町産業研究発表会」】 ねらい：研究内容の整理とその発表を通して、表現力を向上させる。また、各班の研究の相互理解を深める。 主な内容：パワーポイント等によるプ</p>
1月	<p>【1年・生活「むかしのあそびをしよう」】 ねらい：昔の遊びを教えてもらい、遊びの楽しさを味わうとともに地域の方の優しさに気付く。 主な内容：けん玉、あやとり、めんこ等の遊び方を教えていただく活動</p>	<p>【1年・生活「あたらしい1年生をしょうたいしよう」】 ねらい：新年度に入学してくる新しい1年生を招待し、小学校のことを教えたり、一緒に遊んだりして関わりを深める。 主な内容：オリエンテーション・授業参観・一緒に遊ぶ活動</p>	<p>【3年・総合「鳴瀬のじまん」】 ねらい：地域にある今野醸造さんからみそづくりを学ぶ。 主な内容：収穫した大豆と調味料を使ってみそづくりを体験する。</p>	<p>【全校・道徳「全校道徳③」】 ねらい：町長を講師としてお招きし、講話を聞くことで、加美町の一員であることの自覚をもつ。 主な内容：町長による講話</p>	
2月	<p>【1年・生活「もうすぐ2年生」】 ねらい：新1年生を招待し、入学してからの自分を振り返り成長に気付く。 主な内容：教室を飾るなど準備をし、新1年生に小学校の生活を教えたり、いっしょに遊んだりする活動</p>	<p>【3年・総合「広原っていいな」】 ねらい：学んだことを今後の学習や生活にどのように生かしていきたいかを考える。 主な内容：第2回発表会</p>	<p>【4, 6年・総合「大豆を使って」】 ねらい：企業の方を講師に迎え豆腐づくりや大豆を使ったお菓子づくり体験する。 主な内容：収穫した大豆を使い、豆腐づくりや大豆の粉を使った焼き菓子作り</p>	<p>【1年・総合「地域との関わりをもとう」】 ねらい：ふるさとの産業や働く人を通して将来の職業に対する課題意識をもつ。 主な内容：地域の産業調べ、講演 【2年・総合「東京から学ぼう」】 ねらい：日本の首都について課題を設定し、将来の生き方を学ぶ。 主な内容：企業等訪問計画</p>	<p>【全校・「鍋まつりボランティア」】 ねらい：地域活動のボランティアを通して、自己の役割を考え、自己有用感を</p>

月	中新田小学校	広原小学校	鳴瀬小学校	中新田中学校	中新田高等学校
3月	<p>【全校・行事「6年生を送る会」】 ねらい：お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える。 主な内容：5年生が、全校合唱、各学年の出し物（贈る言葉や歌）、全校ゲームなどの企画準備</p>	<p>【1～5年・行事「6年生に感謝しよう」】 ねらい：6年生を送る会の準備をすることにより、6年生への感謝の気持ちを表す。 主な活動：5年生が中心となり、6年生へのプレゼントの作成</p>	<p>【全校・行事「なわとび大会」】 ねらい：自分の目標に向かって努力し、よりよい跳び方や数に挑戦する。縦割り班で協力し合って教えあって長縄跳びをする。 主な内容：短縄の個人発表を行う。縦割り対抗で長縄跳びの競い合い</p>		<p>【1.2年・「先輩の話を聞く会」】 ねらい：卒業後2～3年の卒業生の体験から進路をより身近なものとして捉える。 主な内容：卒業生（8名程度）による講話</p>
通年		<p>【全校・「ペア学年の活動」】 ねらい：上学年と下学年がペアになって活動することで、上学年の年下の子への優しい気持ちを伸ばし、下学年には学校生活を楽しく送るとともに上級生へのあこがれをもち自分もそうになりたいという気持ちをもつ。 主な内容：6年生による1年生への校歌を教えたり、プールの約束やマナーを教える活動</p>	<p>【全校・朝の活動「縦割り活動」】 ねらい：異学年が交流することによって、上学年は、下学年の手本になるようにお世話をし、下学年は、上学年を目標に頑張ろうとする気持ちや協力しようとする心情を育てる。 主な内容：マラソン、ドッジボール、なわとび、縦割りリレーなど班対抗で行われる競技の練習</p>	<p>【全校・業前「あいさつ運動」】 ねらい：朝のあいさつ運動を通して、人とのかかわりを大切にしようとする態度を身に付ける。 主な内容：登校する生徒や地域の方々に輪番制であいさつを行う。</p>	<p>【1.2年・「進路ガイダンス」】 ねらい：上級学校の学習内容や進</p>
		<p>【全校・「縦割り遊び」】 ねらい：6年生が企画した遊びを縦割り班ごとに1ヶ月に1回業間に実施し、6年生の企画力や世話をする力を伸ばし班内の児童の親睦を図る。 主な内容：縦割り班ごとに遊具で遊んだり、ドッジボールやなわとび、ゲームなどをする活動</p>	<p>【全校・集団登校】 ねらい：リーダーを中心に交流を大切にしながら、安全に登校する。 主な内容：地区ごとにリーダーが先頭になり、上学年がお世話しながら、徒歩での集団登校</p>		



平成28年1月29日（金）発行